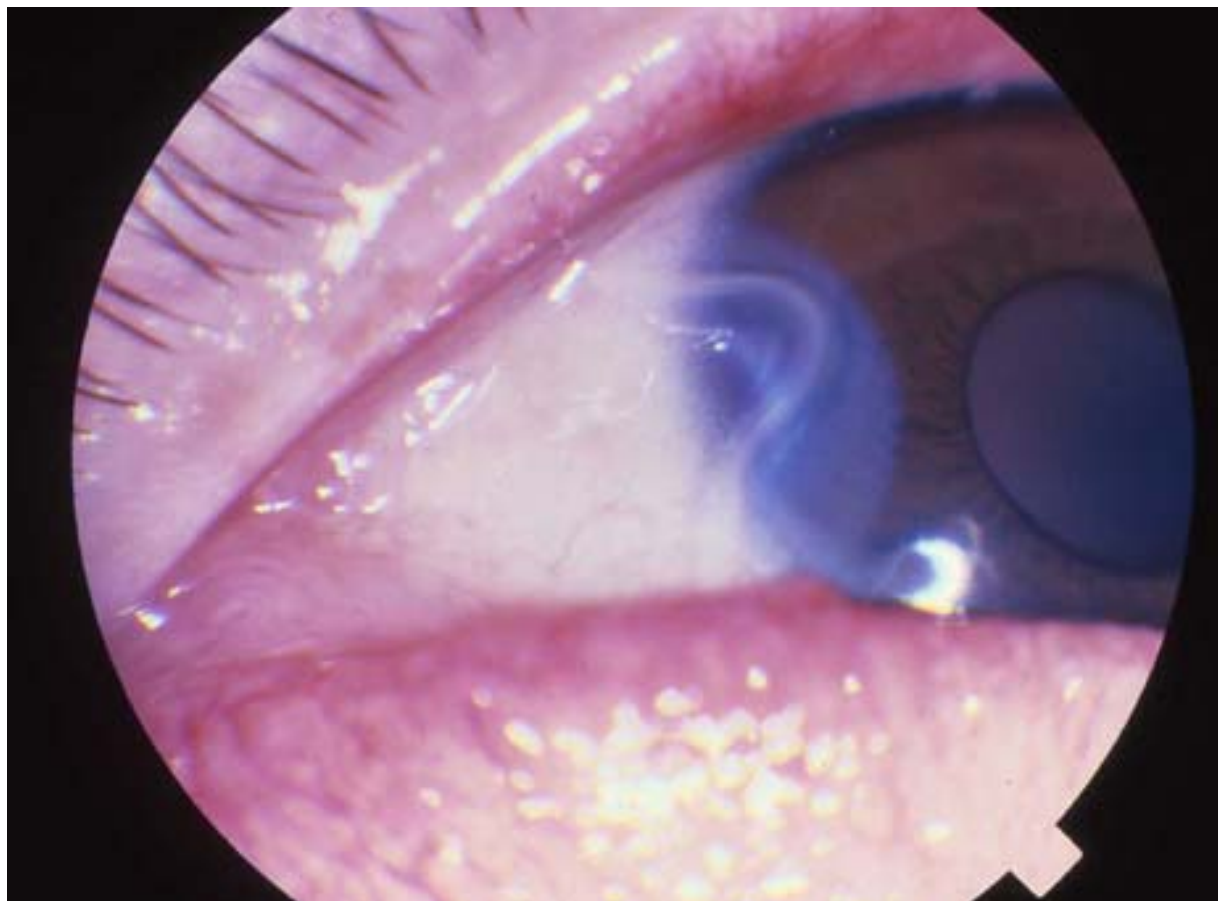
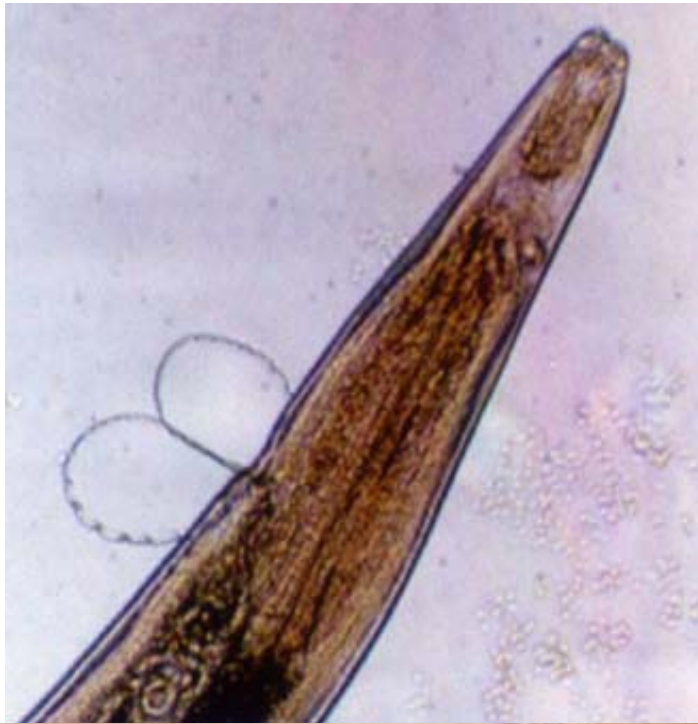


39歳男性、右眼にわずかに異物感を自覚、白い線状の虫が…。

39歳男性、右眼にわずかに異物感を自覚、近医眼科を受診するも異常無し。数日後、白い線状の虫を発見し、HT病院眼科を受診した。しかし、結膜充血は認めるのみであった。結膜炎の診断で抗生剤の点眼の処方を受けた。7日後、点眼時に激しく動く寄生虫を発見。自己摘出し、同眼科を再診した。



持参の虫体は著しく破損されていたが1虫体の確認がなされたため、残存寄生も疑い、上眼瞼を2重翻転し結膜嚢内を観察したところ、4隻の白い線状寄生虫を発見、鉗子で摘出。
写真(A)は、摘出時に激しく動く1隻と外眼角部の2隻(描出不明瞭)を示す。



3隻が当教室に、
1隻が検査機関に届けられた。
3隻(当教室) 1隻 雄成虫
2隻 雌成虫(1隻は破損著しく仔虫散乱)
1隻(検査機関) 雄成虫

東洋眼虫
Thelazia callipaeda

比較的破損の少なかった雌成虫の

陰門部付近	
口腔部	体部表皮と仔虫

